

令和元年9月26日亀岡市教育委員会会議録

1 開会 午後 3時00分

閉会 午後 3時40分

2 出席委員

神先 宏彰 教育長
関吉廣 教育長職務代理者
江口昌道 委員
北村真也 委員
末永礼子 委員
出藏裕子 委員
福嶋百合子 委員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片山 久仁彦 教育部長
國府 美幸 次長兼総括指導主事
亀井 鶴子 教育総務課長
土岐 泰久 学校教育課長
伊豆田 晃正 社会教育課長
山崎 浩久 社会教育課人権教育担当課長
鵜飼 均 歴史文化財課長兼文化資料館長
平田 米蔵 学校給食センター所長
谷 仁志 図書館長
海老原 瞳 教育研究所長
巻田 晃宏 教育総務課総務係長

5 傍聴者

3名

6 議事の大要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和元年8月29日に開催した定例会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・市保護司会とのこん話会に亀岡市長と南丹市教育長とともに出席した。今後、保護司会と市との交流をより深めるためのこん親の場となった。
- ・43回目の西部地区PTAバレーボール大会が開催され出席した。
- ・市立小学校長・中学校長と教育委員のこん談は、テーマを3点に絞って行った。いずれは小・中学校合同で開催したいと考えている。
- ・第26回花づくりコンクール審査会に出席し審査を行った。表彰式は10月2日に行われる。
- ・中学校部活動全国大会出場選手が市長に報告を行った。体操競技の個人で全国優勝、団体で入賞、水泳競技が入賞したことが報告された。
- ・市総合防災訓練が2年に1度、保津橋桂川左岸河川敷で大規模に行われた。
- ・亀岡市・蘇州市スタディアブロードプログラム報告会で、中学生10名が一人ひとり報告を行った。良い形で交流しそれぞれが役割を果たしてきてくれた。
- ・市議会定例会9月議会一般質問が行われ、学校規模適正化や特認校制度、貧困対策等の質問があり答弁を行った。しっかり対応をしていきたい。
- ・学校規模適正化にかかる説明会を東別院町自治会と西別院町自治会で行った。今後、保護者等への説明会を行い、両町の自治会ではアンケートも行われる予定であり、その結果も含め協議したい。
- ・市戦没者追悼式がガレリアかめおかで厳かに行われた。
- ・市立中学校体育祭は1日延期となったが実施された。
- ・亀岡地区中部自治会敬老会、河原町・宇津根町敬老会、宮前町敬老会に市長代理で出席した。亀岡市民の約30%が65歳以上で100歳以上が73人、うち66人が女性である。最高齢は107歳の女性であった。
- ・石田梅岩シンポジウムを開催し、パネルディスカッションには末永先生にもパネラーをしていただいた。
- ・文化財保護委員会を開催し、会長が退任されたのであらたに選任いただき、未指定文化財等について協議を行った。

- ・市議会定例会 9月議会決算特別委員会が行われ、慎重に審議いただいた。
- ・市立小学校・義務教育学校運動会は3校を残して無事終了した。
- ・市美術展表彰式がガレリアかめおかで開催され、教育長表彰を行った。
- ・石田梅岩墓前祭に参列した。
- ・秋の交通安全街頭啓発を亀岡高校の生徒も交えて馬堀駅前で行った。
- ・亀岡市立幼稚園長等と教育委員のこん談を行った。

◎国・府等の関係

- ・明治国際医療大学はスポーツ強化をされており、女子柔道部は創部4年で全国優勝をされ優勝祝勝会が行われ出席した。
- ・府議会議長就任祝賀会がガレリアかめおかにおいて、関係者が多数出席し、盛大に開催された。

○教育長からの報告を受けて、委員から次の質問があった。

＜亀岡市・蘇州市スタディアブロードプログラム報告会について＞

- 江 口 委 員 報告会の中で、自分たちが経験したことのみんなに報告してくださいとあったが、学校で報告されているのか。
- 教 育 次 長 各学校で文化祭等を活用して報告する予定である。先日の報告会で使った写真等のデータも使用しながら報告されると聞いている。

（4）報告事項

- ①亀岡市小学校児童陸上運動交歓記録会について
- ②口丹波中学校駅伝競走大会兼京都府大会予選について
- ③亀岡市立幼・小・中・義務教育学校（園）研究発表会について
- ④第37回亀岡市女性集会について
- ⑤令和元年度10月教職員研修講座のお知らせについて
- ⑥地域ふれあいサイエンスフェスタ2019について

○課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

＜亀岡市立幼・小・中・義務教育学校（園）研究発表会について＞

- 関職務代理者 参観を希望する場合、連絡したほうがよいのか。
- 教 育 次 長 事前に時間や内容等の詳細をお知らせするので、できれば事務局に連絡いただきたい。

＜地域ふれあいサイエンスフェスタ2019について＞

- 末 永 委 員 新しい理科教材やプログラミング教育の充実は大事である。実際に体験や実験をする良い機会になるので、多くの子どもたちに参加してほしい。
- 教 育 長 プログラミング教育に興味が持たれると思うが具体的にはどんなものになるのか。
- 教育研究所長 ロボットを組み立てタブレット端末を使ってプログラミングし動かしたり、コンピュータ上でゲームを作って動かしたりなどを考えている。
- 江 口 委 員 昨年度、長蛇の列ができ並んでいる時間は他のブースを回れなかつたり、午後から参加した子どもは記念品をもらえなかつたという課題があった。整理券を配布したり、午前・午後に分けて記念品を渡してはどうかと提案していたが、どのような改善策を考えているのか。
- 教育研究所長 整理券を配布するブースを増やすように考えている。記念品は参加団体がボランティアで提供しているため、あまり無理は言えない状況にある。
- 北 村 委 員 これだけの集客性があるのは大事な社会的資源である。フェスタが年に1回のお祭りで盛り上がるだけでなく、それを日々の学校活動につなげるようなことは考えているのか。好評であったところはサイエンスフレンズ学習クラブにあらためて来ていただき、理科講座を開催している。学校現場へのつなぎは難しい部分もあり考えていない。
- 教育研究所長 サイエンスフェスタに参加されることが、企業側としては教育分野に参画したいという意志のあらわれであるとしたら、もっと企業を活用することも考えられるので検討いただきたい。
- 北 村 委 員 人気も出てきてぜひ継続してほしい事業であるが、案内はどこまでしているのか。
- 関職務代理者 自治会の回覧や学校を通じて児童・生徒に周知している。体験だけで終わっているのはもったいない。体験をどう経験化するかは編集がいる。
- 教育研究所長 多くの機関が参加しているのでいい形に変化していければいい。次につながる策があればいい。
- 北 村 委 員 企業など参加団体へのアンケートをとって、今後、学校教育でこんなことができるというような提案をいただければ次につながるのではないか。
- 教 育 部 長 実施の時期が前後すると、参加者数が増減するということもあったのではないか。

教育研究所長 昨年は12月に開催したが、高校生の参加が難しかった。
できれば11月23日に固定していきたいと考えている。

教育部長 10月から11月にかけては週末に多くの事業があり、会場確保の問題や市全体のイベントの関係もあるので調整を要する。

教育長 一大イベントであるが、イベントだけではもったいない。
体験を経験に変えて学校現場に活かしていければと考える。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以上